

登録コード	HM130900	開講年度	2026				
授業題目	救急集中治療医学論文演習					担当教員	今村 浩 他
英文授業名	Thesis Seminar in Emergency and Intensive Care Medicine					副担当	高山 浩史・問田 千晶
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	2年次
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					・救急集中治療医学における現状の課題を抽出し、解決のための研究を立案し、実行することができる。	
(2)詳細 /Detailed information	課題に関して適切な医学論文を検索し、読み、その内容が課題解決過程においてどのような位置づけにあるかを理解する能力を身につける。						
(3)授業の概要 /Overview of course	科学データベースを用いて優れた医学論文を検索する能力を習得する。また、救急医学、集中治療医学に関する学術論文を読み、その内容を第3者にプレゼンテーションする。						
(4)授業計画 /Course plan	(問田千晶/5回) (高山浩史/5回) 抄読会形式で、医学論文を批判的に読む能力、その内容を要約してわかりやすく紹介できる能力を習得させる。 (今村 浩/5回) 救急医学、集中治療医学における一つの課題に対し、その課題を解決するためのエビデンスとなる論文を複数選び、それらを引用して課題解決を行い、第3者にプレゼンテーションできる能力を習得させる。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	抄読会におけるプレゼンテーションにより評価する。 プレゼンテーションに於いて(i) 問題の把握が的確であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して当該研究・論文の提示する知見に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば(秀)」。 (i) から (v)の5項目を満たしていれば(優)。4項目までできていれば(良)。3項目までできていれば(可)。						
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト・教材・参考 書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	2/3以上の出席が必要である。						
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	E mailにて受け付けます。						
(8)授業の形式 /Course format	オムニバス形式						